

クリーンセンターをめぐる地域の方々の思いを連載します。今回は、クリーンセンター運営協議会の委員を長年務め、現在も緑町三丁目町会の会長として地域で活躍されている杉本安雄さんです。

クリーンセンターと私② クリーンセンターの煙突

緑町三丁目 杉本安雄

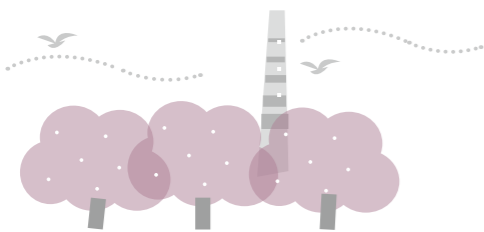
昭和59年10月に現武蔵野クリーンセンターが本格稼働してから約30年の月日が経ちました。いろいろな事柄が昨日のように思い出されます。この施設周辺の地域には当時約8名の地主が、米、麦、野菜などを作り生活していたことをご存知の方は少ないのではないのでしょうか。これらの土地を基にしてできたのが、現在のクリーンセンター関連施設なのです。

私たちの住む緑町三丁目地域は南北に吹く風の通路になっていて、当時は煙突から出る煙が家の中に吹き込み、臭いにおいが家中に広がったため大騒ぎ。市に連絡すると職員が大きなビニール袋に各部屋の臭い空気を詰め、調べるために持ち帰りました。結果報告は聞いた記憶がありません。毎日見る煙突は異様な姿に映り、とんでもない施設ができたものだと感じていました。

それから数十年経った今日この頃、煙突は景観の中に溶け込み、当時の嫌な状況が全く感じられません。むしろ煙突のあることさえ忘れていたこともあります。この裏には安全・安心な運転をするために市関連職員の並々ならぬ施設機器の整備への努力、また施設の運営を監視するクリーンセンター運営協議会委員の活動があったのです。

現クリーンセンターの建て替えが進んでいますが、最新機器で効率良い作業、また安全な操業ができることを願っています。

新施設のデザインも検討されている模様で、煙突は現在の煙突を補強して再利用し、景観に配慮したデザインにするとのこと、工場本体、そして煙突はぜひ自然の中に溶け込む姿になることを願っています。



* 編集後記 *

新クリーンセンター(仮称)の準備工事も始まり、運営協議会に参加する住民の一人として安全、騒音等を見守り、順次様子を地域の皆様にお知らせして行きたいと思っております。「エコなお料理」で、おいしいものを食べ、寒い冬から春へと元気な体で乗り越えましょう。(島森和子)

活動報告

平成25年度 運営協議会活動報告

- 平成25年
- 4/24 第192回 運営協議会
 - 5/29 第193回 運営協議会
 - 7/31 「運営協議会だより」第55号発行
 - 8/20 第194回 運営協議会
 - 8/31 イベント
「ごみから学ぶワークショップ広場」開催
来場者：約360名
 - 10/2 第195回 運営協議会
 - 11/16 運営協議会バス研修開催 参加者：48名
* (株)ナカダイ モノ：ファクトリー
* バンダイおもちゃミュージアム
 - 11/30 「運営協議会だより」第56号発行
 - 12/19 第196回 運営協議会
理事者との意見交換会
- 平成26年
- 1/21 臨時運営協議会
 - 2/18 第197回 運営協議会
 - 2/26 委員研修 参加者：25名
* 川崎市王禅寺処理センター
* 羽田空港機体メンテナンスセンター
 - 2/19, 21, 24, 3/3, 5 環境健康診断実施 受診者：181名

アルミホイルを使って おつまみも一緒に！ エコなお料理レシピ

焼き魚と野菜料理が
グリルで一度にできあがり!!
省エネで、残り野菜も
すっきりおいしく片づきます



●材料 アルミ箔、じゃがいも、レンコン、さつまいも、長ネギ、残り野菜やキノコ類、塩鮭等の魚の切り身、オリーブ油、塩、こしょう

●作り方

①オリーブ油をぬったアルミ箔に輪切りのレンコン、じゃがいも、さつまいも、ぶつ切りにした長ねぎ、かぼちゃなどの残り野菜をのせ、塩、粗びきこしょうをふる(多めに振るのがポイント)。②上からオリーブ油を少々かけ、魚と一緒に焼く。

★きのこ類、グリーンアスパラなど香味があるものは、薄切りの玉ねぎやレモンと一緒にアルミ箔にしっかり包み込み、魚と一緒に焼く。

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内
電話：0422-54-1221
●武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

*この広報は、再生紙を使用しています。

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 57

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

バス研修会より モノ：ファクトリー 「素材」でワークショップ

学ぶ みつける 使う

運営協議会では毎年、環境学習と地域の交流を目的にバス研修会を行っています。今年度は11月16日(土)、総勢49名で株式会社ナカダイの群馬県前橋工場内にあるモノ：ファクトリーを視察しました。ナカダイは産業廃棄物の中間処理施設で、処理に困る産業廃棄物を分解し素材ごとに分け、新たな「素材(マテリアル)」にして、約90%がリサイクルされています。モノ：ファクトリーは、工場見学の他に廃棄物を解体・分別された素材を展示・販売するライブラリー、素材を使ったワークショップを行うスタジオがあり、「モノの流れを変え、新しい価値を見いだす」という取り組みは、昨年、グッドデザイン賞未来づくりデザイン賞を受賞しました。

2班に分かれて、2種類のワークショップに挑戦！

LANケーブルで
コースター作り
様々な色のLAN
ケーブル。ふわふわ
わできれい。



色とりどりのLANケーブルをアイロンの熱で溶かして、好きな形に切り取り、コースターを作りました。

基板でバッジ作り

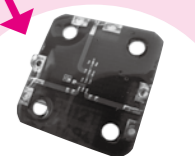
基板の模様を樹脂を塗って金具をつけます。



こまかいな



カラフルなコースターの
できあがり!



基板の模様がすてきな
バッジのできあがり



▲廃棄物を分解・分別する工場。
◀ライブラリーには、きれいに分別された素材がずらり。

いろいろな素材は、なんだか
見ているだけでワクワク。

搬入される産業廃棄物は、企業の工場から直接運ばれてくる大きな機械から雑貨、部品まで多種多様、分解・分別されてできた素材も大小様々。展示されている素材は全く新しい製品として魅力的です。ワークショップで実際に素材を使ってみて、いろいろなものに利用できる可能性を感じました。見学だけでなく制作作業を一緒にすることで、わきあいあいとした地域交流をすることもできました。

<お詫び>本号は3月31日発行予定でしたが、都合により発行が遅れてしまいました。お詫びいたします。

委員研修報告

新しいごみ処理施設と安全を支えるメンテナンスセンター

緑町三丁目町会
狩野耕一郎

2月26日、運営協議会委員と周辺地域3団体の役員、市のスタッフなど合わせて25名で、「川崎市王禅寺処理センター」と「羽田空港機体メンテナンスセンター(ANA)」を視察しました。

川崎市王禅寺処理センター

武蔵野クリーンセンターと比べると

王禅寺処理センターは、新武蔵野クリーンセンター(仮称)と同じ建設事業者で、同じような設備もあり、ぜひ参考に視察することになりました。

川崎市は人口約145万人(武蔵野市:14万人)、総面積は144.5km²(武蔵野市:10.7km²)と、当市に比べて10倍以上の人口と面積を誇る政令指定都市です。市内4カ所にごみ処理場を有し、特にこの施設は、平成24年3月に竣工したばかりで、最新鋭機を設け、全国でも最先端をいく高度な処理能力を誇るかと。

ごみの搬入口は8つ(現クリーンセンター:3つ)、きめ細かい掴みを可能にするクレーンが作動し、ストーカー式焼却炉は3つ、450t/日(150t/日×3炉)の処理能力があります(現クリーンセンター:195t…65t/日×3炉)。焼却炉では約1,000℃の高熱でごみを焼却し、発生する酸性ガスやダイオキシン類等の有害ガスを重曹や触媒など(現クリーンセンター:苛性ソーダ)により化学的に処理します。

大規模なごみ発電

ごみの焼却で発生する高熱を蒸気タービン発電機に誘導して、7,500kwhを発電します。総発電量の75%を電力会社に売却し、隣接する温水プールや体育館へ蒸気を供給しています。また建設中の「健康とふれあい広場」や環境啓発施設「プラザ棟」へも給電されるそうです。新武蔵野クリーンセンターもごみ発電を行います。総発電量は2,650kwh、近隣の施設などで使う電力量は2,500kwhですから、施設の規模の大きさと発電の威力を感じました。

施設の向かいの丘には墓が広がり、横浜市に接した市の西部地区になっています。ごみ処理場は丘陵地帯に建設されているので、煙突も含めて高さもおさえられているように感じます。隣接した高台にある真宗寺の川崎大仏様が、施設の適切な運営を見守っているかのようでした。

羽田空港機体メンテナンスセンター

安全運航を支える徹底した整備

ANAの機体メンテナンスセンターの主な整備には、機体を格納庫にドックインさせて定期点検・整備する「ドック整備」、各地の空港で飛行ごとに到着した機体を出発までに整備する「ライン整備」、航空機のコンピューターや電気・油圧・空圧システムの装備品を点検・整備する「装備品整備」、エンジンを部品一つひとつを分解して整備する「エンジン整備」などがあります。定期点検は、毎日、A整備(375~600時間ごと)、C整備(3,000~6,000時間ごと)、HMV(ヘビーメンテナンスビジットの略。4~5年ごと)があり、細部まで幾重にも整備されています。

安全・安心な操業を目指して

定期点検やエンジンのオーバーホール等の整備を受けるべく駐機している、最新鋭のボーイング787型機のすぐそばまで近づくことができ、飛行機ファンならずとも興奮する瞬間だったようです。

「何故、飛行機のメンテナンス工場見学なのか?」と思われるでしょう。細心の注意で操業し、厳しい環境基準を順守すべく日夜努力しているクリーンセンターの目指すことと、飛行機のエンジン等のメンテナンスに一つのエラーも許されぬところは共通であると、同行の環境部木村参事の説明を受け、良く理解できました。



王禅寺処理センターのごみ発電設備(蒸気タービン発電)。新クリーンセンターにも設置される。地球温暖化対策にも寄与し、防災にも役立つ。



機体メンテナンスセンターの広々としたドックで機体を背景に、記念撮影。

クリーンセンターの環境講座が おもしろい!

クリーンセンターの環境講座に行ったことがありますか? 内容は環境に関すること、といっても範囲が広く、野菜作り、観察会、手芸、料理等…生活に役立つ、暮らしを楽しくするユニークな講座がいっぱい、毎回好評を得ています。講座の評判は口コミで広まり、リピーターも増え、講座によってはすぐ満員になってしまうものも。詳しくは市報やホームページで、情報を見ることができます。ぜひ、気軽にご参加ください。

いらなくなった傘でCASAストラップをつくろう

◀傘を解体して部品ごとに分別します。

▼虫? かに? ユニークな作品。

親子木工教室

▲バッグにつけたオリジナルストラップ。

▲傘で作った針刺し。

地元の野菜でエコクッキング

こんなに便利! ふろしき利用術

●今まで行った環境講座

回	平成	月/日	講座名
1	22	3/10	生ごみ堆肥化・ごみ減量講座
2		5/11	身近な里山でリフレッシュしませんか?
3		6/16	こんなに便利! ふろしき活用術
4		7/5	CO ₂ のダイエットで地球も家計もハッピー
5		8/24	親子で科学実験! 糖度って何?
6		9/9	お母さんのための「エコロジカル・フットプリント」基礎知識
7		10/22	地産地消! 地元の野菜でエコクッキング
8		11/26	石けんを使ってシンプルライフ
9	23	1/28	ごみを減らす・ごみを活かす
10		3/23	環境にやさしい遊び 親子紙ヒコーキ教室
11		6/8	こんなに便利! ふろしき利用術
12		8/26	ネイチャーゲームで自然を発見
13		9/30	地産地消! 地元の野菜でエコクッキング
14		10/19	美味しい野菜の育て方教えます
15		12/1	石けんを使ってシンプルライフ
16	24	2/8	美味しい野菜の育て方教えます
17		3/27	塩と砂糖の不思議と発見
18		5/12	美味しい野菜の育て方教えます
19		6/20	こんなに便利! ふろしき利用術
20		8/20	美味しい野菜の育て方教えます
21		10/31	世界の自然を巡る~母なる大地のエコロジー~
22	25	3/26	親子ケータイぶんかい教室
23		7/6	いらなくなった傘でCASAストラップをつくろう!
24	26	3/2	親子木工教室
25		3/22	靴を育てよう! 長く大切に使うための靴磨き教室

工事中 NOW

工事の様子を毎号お知らせします。
2014.3
更地になった建設用地

バラ園や藤棚、駐車場等が撤去され、仮囲いが設置されました。不発弾調査やアスベスト調査、ごみ搬入車両の動線変更による工事等も4月まで準備工事があり、4月14日に起工式を行いました。周辺地域と工事協定書を結んだ後、5月からいよいよ本工事が始まります。

